

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 7 年 3 月 28日

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービスはびねす

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			・児発については問題ないと思います	
	② 職員の配置数は適切である	84%	16%		・ギリギリでまわしている日があり、重症の利用者さんのため時にはかかりきりになり、その時に目が行き届かないときがあると思います ・利用者の医ケア依存度の高い場合は人手が足りないと感じる日もある ・日によって異なる	現在は、利用児1名に対して職員1名の体制を取らせていただいております。その日のお子さまの状態でより他のお子様の関わりが不十分になってしまうこともあります。その様な場面において柔軟にスケジュールの変更や職員の配置などを検討していきますので、職員の皆様にも一緒にご検討をお願いいたします。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%			・問題ないですが、トイレに関しては、大人と同じサイズで補助具だと足がブラブラで怖く感じる利用者さんもあると思うので、ステップ等があるといいと思います	ステップを購入いたします。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%				
⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	67%	33%		・常勤の方々の間では周知されているのかもしれませんが、非常勤まで共有されていないことがあり、ある日突然変わっているということも少なからずある	変更の内容は、共有の情報ツールやミーティング時に忘れずに共有してまいります。	
⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	34%	16%	・保護者に対して事業所の評価を実施していることを知りませんでした ・分からない	説明不足で申し訳ございません。職員と同時期に保護者様へも評価表を行っていただいております。	

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	84%	16%			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	34%	16%	・分からない	第三者の評価は行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%				
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	84%	16%		・今ちょうどやり始めたところと認識しています。それが、支援に反映されるのは、これから先だと思っています	職員のミーティングで支援会議を開いていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	84%		16%	・わかりません	アセスメントツールを用いておりません。今後活用していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	67%	33%		・今まで、放置されていたところ、今ちょうどやり始めたところと認識しています。既にアセスメントを終えた利用者さんについては、設定されていると思います	支援内容を職員へ共有していきます。
		児童発達支援計画に沿った支援が行われている	67%	33%		・計画が支援に反映されるのはこれから先だと思っています ・人によってかかわりがちがう	統一した関わりができるよう職員へ共有していきます。
		活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			・常勤の方を中心にチームで話し合っています	職員全体で話し合っています。
		活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			・若干製作にかたよりつつあるので、今後は体を動かしたり、音楽など情緒の発達を促すプログラムをもう少し組み入れればと思います	5領域に沿ったプログラムを展開していきます。

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	84%		16%	・わかりません	個別活動が多くなっているため、集団活動をもう少し取り入れていきたいと思っております。
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	84%	16%		・主に常勤の方主導で非常勤はその場で指示を受けることが多いです	支援開始前に打ち合わせや伝達をしていきます。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%		・非常勤のため直接打ち合わせに参加することは難しいですが、意見を伝えることはできるはずなので、今後関わり方を改善したいと思います	支援終了後に連絡ツールでその日の振り返りをしておりますが、もっと活発に活用していきます。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	84%	16%			
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	67%	33%		・現在モニタリングを実施していますが、前回との間隔が少しあいてしまっていると思います。日々の支援のほかにモニタリングと常勤の方は時間に余裕がなく、やりたくてもできない状態でもあると思う	モニタリングを定期的に行い職員と話し合っていきます。
関係機関や保護者	① 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%				
	② 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	84%		16%	・わかりません	子育て支援等の関係者との交流はありますが、連携した支援はこれから行っていくところです。
	③ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%				

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
自 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%				
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%		33%	・わかりません	該当児がいる場合には 情報共有しております。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	84%		16%		
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	68%	16%	16%	・わかりません	自立支援協議会や医ケア連絡会へ参加し連携しております。職員全体へ内容を共有していきます。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	16%	84%			
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	16%	34%	・わかりません ・分からない	自立支援協議会や医ケア連絡会へ参加しております。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			・連絡帳に詳しく書くように努めています	連絡帳や送迎時に様子や状況を共有しております。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	50%	50%			

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%				
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	84%	16%		・送迎の際に保護者の方とお話することで悩み等、くみとっていると思います	送迎時の際や連絡ツール、電話にて相談に助言や支援を行っております。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		・夏祭りやクリスマス会等、行事で保護者同士の交流が自然発生することはありません	保護者会の回数を増やして行けるようにいたします。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%				
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%				
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	100%				

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	100%				
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開 かれた事業運営を図っている	67%	33%		・ハロウインの時に近隣のお店にご協 力いただき子どもたちと接する機会を つくることができましたが、子どもたち の障害の特性もあり、なかなか交流の 機会が作れません	地域の方々へイベントに 招待して行けるようにい たします。
非常時 等の 対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	84%	16%		・訓練はしていますが、圧倒的に回数 が少ないと思います	それぞれの訓練の方法 を見直し回数を増やして 行けるようにいたします。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	84%	16%		・訓練はしていますが、圧倒的に回数 が少ないと思います	訓練の回数を増やして行 けるようにいたします。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認している	100%				
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	100%				
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	100%				
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	100%				

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%			・わかりません	身体拘束の必要な児がおりません。今後必要になった場合には行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。